

2009年 1月 30日発行

川掃除

毎月第一日曜日、五中時代の教え子達と黒目川の掃除をしています。12月と1月は川の中に入っての大掃除になりました。これがまた面白いのです。確かに水は冷たいし、大物を引き上げるときはパンツまでビショビショになります。でも、1300M程の範囲を下流から上流に向かって、ゴミを拾ったあとは本当に気持ちがいい。12月は石神小学校の男の子たちが手伝ってくれました。1月は中学生、高校生の女の子たちが手伝ってくれました。川から上がった大量のゴミは月曜日に市役所の環境対策課が車で持って行ってくれます。地域と行政が力を合わせて黒目川を綺麗にしていく..ちょっと感動でしょ?



「冷てえ！」写真左側は五中4期生の祐晴君。毎月小平市からの参加です。写真右側は同じく五中4期生の直弘君。泥んこでグチヨグチヨだけどこの笑顔。栗原1丁目から毎月参加です。

《お知らせ》

次回の川掃除は2月1日(日)、3月は8日(日)の予定です。朝9時~11時、栗原一丁目公園集合です。途中参加も大歓迎です! トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。

日記から

1月18日の僕の日記にはこんなことが書いてあります。それは母さんとの朝の散歩のときに起こった。いつものようにトングを持って黒目川のゴミ拾いをしていると..向こう岸で何か白い物を川にそっと捨てた男がいたのだ。その瞬間! 「はあ?」と大声を出す僕。ビクッとこっちを見る男。川はゴミ箱じゃねえぞ!」と叫ぶ僕。聞こえない振りをして足早に立ち去る男。それが40過ぎの身なりのいい男なのだ。僕は向こう岸に走って行って..その白いゴミを川の中から拾った。それは、ティッシュで包んだ犬のウンコだった。「まったく定額給付金のようなことをやがって...」川にティッシュで包んだ犬のウンコを捨てるのなら、そのままウンコを放置したほうがマシだ。自分は犬のウンコの始末をしています! って顔をしながら..そういうことを平然とやるのだから、ダラ(富山弁で阿呆)な奴だ。黒目川はお前の家の便所じゃないぞ! このダラめ!! そう言ってやれたかった。」ちょっと言葉が汚くて申し訳ないのですが、これには流石に頭にきました。まるで「世紀の大愚策」あの定額給付金のようなうわべだけの行動だからです。冗談じゃあありませんよ! まったく..



正月の4日から川の中に入ってくれたメンバーです。左から祐晴、美月、あゆみ、直弘。